

千葉市発達障害者支援センターの実績報告について

(1) 個別支援 …電話、来所、訪問により個別に支援を行うもの

		H19(1～3月)		H20		H21		H22(12月まで)	
発達支援（家庭や所属機関における療育方針や援助方法を支援するもの）									
延件数		28		161		292		191	
項目	1	療育支援	18	療育支援	112	家庭生活	167	家庭生活	109
	2	家庭生活	5	家庭生活	18	療育支援	66	教育	70
	3	情報提供	4	情報提供	12	教育	39	健康医療	3
実人数		14		64		15		9	
年齢	1	0～6歳	11	0～6歳	49	4～6歳	7	7～12歳	5
	2	7～12歳	2	7～12歳	13	7～12歳	4	4～6歳	3
	3	不明	1	19歳以上	1	0～3歳	2	16～18歳	1
相談支援（日常生活のさまざまな相談に応じるもの）									
延件数		53		542		1,187		1,339	
項目	1	家庭生活	18	家庭生活	225	家庭生活	516	家庭生活	493
	2	教育	18	情報提供	123	情報提供	212	就労(本人以外)	264
	3	情報提供	9	教育	100	就労(本人以外)	150	教育	198
実人数		30		241		449		413	
年齢	1	13～18歳	14	19歳以上	101	19歳以上	241	19歳以上	240
	2	19歳以上	7	13～18歳	56	7～12歳	61	7～12歳	62
	3	7～12歳	6	7～12歳	45	4～6歳	45	16～18歳	41
就労支援（就労やその準備に関する支援について、関係機関と連携して支援するもの）									
延件数		12		240		415		476	
項目	1	就労	9	就労	136	就労(本人)	336	就労(本人)	452
	2	その他	3	家庭生活	75	家庭生活	51	家庭生活	14
	3	—		健康医療	19	健康医療	22	健康医療	6
実人数		6		39		36		54	
年齢	1	19歳以上	4	19歳以上	39	19歳以上	36	19歳以上	52
	2	13～18歳	1	—		—		16～18歳	2
	3	不明	1	—		—		—	
延件数合計		93		943		1,894		2,006	
実支援人数		50		344		500		476	

※ 項目及び年齢の欄は、件数の多いものから3番目までを記載

※ 発達支援については、H21年度より、個別支援計画を策定した場合のみ計上するものと変更され、それ以外は相談支援として計上することとされた。

(2) **機関支援** …協議会の運営等により、ネットワークの強化を図る

	H19(1～3月)	H20	H21	H22(12月まで)
千葉市発達障害者支援連絡協議会の運営 (同協議会を開催し、発達障害者支援の推進を図るもの)				
開催回数	0	1	2	0
関係機関との連携会議 (関係機関が開催する会議に出席し、連携を深めるもの)				
参加回数	1	22	11	3
発達支援	1	5	3	0
相談支援	0	14	3	2
就労支援	0	3	5	1
機関コンサルテーション (保育所や幼稚園、学校等を訪問し、助言・指導をするもの)				
実施回数	8	23	30	9
発達支援	7	13	20	5
相談支援	0	6	5	3
就労支援	1	4	5	1
個別支援のための調整会議 (保護者や関係機関の職員と対応方針等の共有を図るもの)				
開催回数	2	50	69	38
発達支援	1	7	40	12
相談支援	0	35	15	20
就労支援	1	8	14	6

※ 平成 22 年度は、医師や教育関係、母子保健関係者の協力を得て、機関コンサルテーションを充実させる取り組みを試験的に開始。

(3) **普及啓発** …講演会や研修会により、障害に関する理解の普及啓発を図る

	H19(1～3月)	H20	H21	H22(12月まで)
主催・共催講演会 (一般市民や関係者を対象とした講演会を開催し、障害の理解浸透を図るもの)				
開催回数	0	4	3	5
参加人数	0	312	398	915
講師派遣 (関係機関が開催する研修会等に講師を派遣し、障害の理解浸透を図るもの)				
開催回数	0	16	13	9
参加人数(関係者のみ)	0	507	656	402

※ 主催・共催講演会の講師

H20：杉田氏（千葉大学教授）、武藤氏（日本自閉症協会専門相談員）

H21：柿沼氏（桜木園園長）、藤尾氏（千葉障害者就業支援キャリアセクター）

H22：うすい氏（ツガ-ツグライター 発達障害児の親）、武藤氏（H20 と同）

三島氏（LD 発達相談センターかながわ 臨床心理士）

※ 平成 22 年からは、世界自閉症啓発デーに伴う各種イベントを、千葉県発達障害者支援センター及び自閉症協会と共同で開催。